

松浦の魅力をもっと発信！

旬さば缶詰 受賞再び

一般社団法人まつうら観光物産協会(小松英史代表理事)の「旬さば缶詰」が第58回全国推奨観光土産品審査会において、特別審査優秀賞(食品部門)を受賞しました。

この審査会は、全国各地の優れた観光土産品を選定するもので、今年度は全国から1,181点が出品され、菓子、食品、民芸、グローバルの部門ごとに審査が行われました。

旬さば缶詰の受賞は、昨年1月の長崎県特産品新作展に続き、2回目になります。

小松代表理事は「こだわってつくった商品が認められて嬉しく思う。受賞商品は羽田空港などで展示・販売会が行われるため、外国人旅行者などにも広く松浦の特産品をPRしていきたい」と感謝の気持ちを述べました。

問合せ先：
一般社団法人まつうら観光物産協会
☎0956-76-8822



デジタル写真コンテスト受賞者決定

1月30日、市役所で第17回松浦水軍まつりにおいて開催したデジタル写真コンテスト表彰式が行われ、最優秀賞に緒方源太さん(佐世保市)の「若武者」、優秀賞に小林隆さん(今福・北東2)の「かわいい蛇踊りさん」が選ばれました。

緒方さんは、「初めて水軍まつりに参加した。今後も各地の風景を切り取っていきたい」、小林さんは「この賞を励みにこれからもたくさん写真を撮りたい」と喜びを語りました。

写真は、松浦の魅力をもっとPRするための素材として活用されます。



「鬼は外！福は内！」市内各地で豆まきが行われました！



▲今福神社



▲羽黒神社

今福神社および羽黒神社の節分祭の豆まきが、2月3日に行われました。節分は、季節を分けるという意味で、現在では、旧暦で年の初めにあたる立春の前日のみを指すようになりました。生命の源の象徴である豆を邪気(鬼)にぶつけて追い払い、無病息災と新しい年の福を願います。

今福神社の今年の「福っ娘」は、今福町の松永美紅さん(今福中3年)と迎希美さん(今福中2年)が務めました。2人は金色の烏帽子と桃色の羽織袴に身を包み、「鬼は外！福は内！」と元気な声で豆をまきました。

羽黒神社では、星鹿町の平野百華さん(御厨中3年)と平野雪華さん(星鹿小5年)が巫女装束に身を包み、氏子らとともに笑顔で豆をまきました。この日集まった人たちは、たくさんの福をつかもうと、飛んでくる福豆に向かって大きく手を伸ばしました。



◀左から迎希美さん、松永美紅さん



▶左から平野百華さん、平野雪華さん

一住宅用火災警報品の定期的な点検を！

消防だより

【問合せ先】松浦市消防本部 ☎0956-72-1211

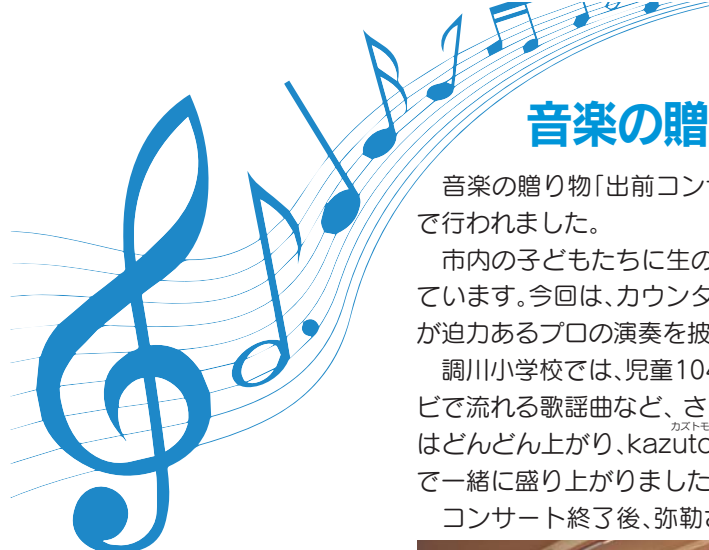


林野火災を防ぐために

春季全国火災予防運動(3月1日から3月7日まで)

林野火災の原因として、たき火および火入れによるものが多くを占めています。この時期は、春を迎えて火入れなどが行われることから、それぞれが次のことに注意が必要です。

- ① 枯草などのある火災が起こりやすい場所では、たき火は絶対にしない。
- ② たき火や火入れをするときは、必ず消防署へ連絡し、周囲にも知らせる。
- ③ 風が強いとき、空気が乾燥しているときには、たき火や火入れはしない。
- ④ たばこの火は必ず消し、絶対に投げ捨てない。
- ⑤ 火遊びはしない。



音楽の贈り物 『出前コンサート』 開催！

音楽の贈り物「出前コンサート」(松浦市文化会館主催)が2月7日、御厨小学校と調川小学校で行われました。

市内の子どもたちに生の音楽の素晴らしさを直接肌で感じてもらいたいと、毎年実施されています。今回は、カウンターテナー歌手の**みらくろ** 弥勒忠史さん、ピアニスト・作編曲家の**ただし** MAKIさんが迫力あるプロの演奏を披露しました。

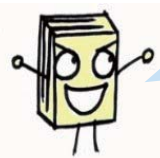
調川小学校では、児童104人が参加。音楽室に肖像画が飾られている有名な作曲家の曲やテレビで流れる歌謡曲など、さまざまなジャンルの曲が披露されました。子どもたちのテンションはどんどん上がり、kazutomuの「青のまち」や校歌と一緒に歌ったり、手拍子をしたり、みんなと一緒に盛り上がりました。

コンサート終了後、弥勒さんは、「子どもたちが歌や演奏を楽しんでくれて嬉しかった。次は



ホールにコンサートを観に来てください)、MAKIさんは「子どもたちが楽しんでいるのが伝わってきて、こちらでも楽しんで演奏できました。身近に音楽を感じてもらえたと思うので、次はホールで観て欲しいです」と笑顔で話してくれました。

◀調川小学校でのコンサートの様子



えほん侍参上！『イクメンパパの絵本ライブ』を体験

パパたちのための「えほんの読み聞かせ」講座が2月3日、生涯学習センター(きらきら21)で開催されました。

「絵本の読み語り」というとママと子どもの時間、ボランティアにおいても女性の活動というイメージがありますが、絵本は老若男女問わず、お互いを身近に感じることができる魔法の道具です。

図書館では、もっと絵本との時間を過ごしてもらおうと、「えほん侍」代表の岩崎秀雄さん(大村市)を講師に迎え、絵本ライブやこれまでの活動の経緯、熱い想いなどをお話してもらいました。「えほん侍」はVのみのみで構成される絵本読み聞かせの市民ボランティアグループで、男性ならではのパフォーマンスで活躍中です。

当日は約70人の親子連れが参加し、絵本の楽しさを体験するとともに家庭と社会(地域)をつなぐ活動の大切さを学びました。



友広郁洋前市長退任 - 新「松浦市」の市政運営に尽力 -

友広前市長は、平成18年1月、合併により新「松浦市」が誕生後、平成18年2月から初代市長として、3期12年間にわたり重責を担われ、この度2月4日の任期満了をもって退任されました。

2月2日の退任式では、「行政マンとして、至誠一貫を座右の銘に、常に市勢の発展と市民の福祉向上を願い、誠心誠意全力を尽くして参りました。多くの関係者や関係機関のご支援、ご協力のもと、本市の将来の発展を支える基盤施策を大きく前進させ、軌道をつくることができました。本当に感謝の気持ちで一杯です」とあいさつ。

庁舎玄関では、職員から花束を受け取り、市民や市議会議員、職員らに見送られながら、市長として12年間過ごした庁舎を後にされました。



▲お別れに集まった職員から花束を受け取る友広市長